

令和元年度一休さん放課後等デイサービス事業所における自己評価表

(令和元年12月実施分) 【回収率100%】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			人数・年齢によっては狭く感じる為、来年度は空間を分ける工事を実施する予定。
	2	職員の配置数は適切であるか	50%	50%		配置数は適切だが、外出活動・長期休暇・送迎時などでは手厚ければ手厚いほど良い。 長期休暇の時などは活動内容によっては不足に感じる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		100%		車イス用のスロープがまだ設置できていない出入り口がある。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	25%	25%	50%	なかなか時間がしっかりと取れない為、しっかりと時間を作って全員で話し合いが行える様にしたい。 業務改善にあたり、問題点の抽出・改善の実行等出来ていない。 背景には日々の業務の役割分担が出来ていなかったり話し合いの場が少ないと感じる。→改善目標①
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75%	25%		H28年度より保護者向けアンケートを実施し、業務改善につなげている。
	6	保護者のアンケート調査結果を事業所の会報等で保護者にフィードバックしているか	75%	25%		全ての保護者にアンケート結果を配布している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	第三者による外部評価現在行っていないが、今後必要に応じて実施を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止啓発講演会【11月】（1名参加） ・令和元年度強度行動障害支援者養成研修【9～10月】（1名参加） ・令和元年障がい児通所支援事業所等交流会【9月】（1名参加） ・令和元年障がい児通所支援事業所等交流会【1月】（2名参加） ・令和元年度発達障がい児等心のネットワーク研修会（5名参加） 常勤・非常勤問わず可能な限り参加を呼びかけている。また事業所内研修についても感染症対応について等実施している。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%	25%	25%	計画期間ごとにモニタリングとアセスメントを行った上で個別支援計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		100%		統一したアセスメントシートを使用しているが、シートの内容については改善・見直しの必要がある。→改善目標②
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	50%	50%		職員間で案を出し合いながら活動プログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しない様工夫しているか		100%		平日・土曜日・長期休暇中で内容を変化させ、個別・集団両方の活動時間を大切にできる様、工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	50%		平日はリラックスと心の安定、土曜日・長期休暇は集団活動の中で社会性を伸ばすことを課題の中心としている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	25%		個別支援計画には個別・集団それぞれの課題を組み込んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	25%	50%	25%	朝礼を日次で実施し、全職員での情報共有を行っているが、放課後等デイの職員のみでの会議・打ち合わせを毎日行うべき。 外出活動の際は特に気をつけて役割分担を行ってから活動を始めるようにしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	25%	50%	25%	終業時にも振り返りや保護者からの伝達等の情報交換を行っているが、不十分である為、放課後等デイの職員のみでの会議・打ち合わせを毎日行うべき。→改善目標①	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	75%	25%		複写式の記録用紙を使用し、一部を保護者へ、もう一部を事業所の記録として保管している。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	25%		6ヶ月に1回は実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	75%	25%		ガイドラインに示されている基本活動を指針として活動プログラムを作成している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			原則として児童発達支援管理責任者が出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			学校との情報共有については、基本的には保護者を介して行っているが、日々の様子については学校へのお迎え時に学校の先生と情報交換を行うようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%			医療ケアが必要な場合は、事前に主治医より情報提供を頂き、協力医療機関である法人病院の小児科医が診察し、緊急時に備えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	50%		児童発達支援から放課後等デイへ移行する子どもが主である。併用利用していた保育園や幼稚園へは行事の際などに訪問したり、訪問を受けたりしている。
	24	中学校を卒業し、他の放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	25%	75%		卒業年度の最後のサービス担当者会議の際などに情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25%	75%		専門機関が主体となって開催する研修会には可能な限り職員を派遣し、研修の機会を作っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	25%	25%	50%	現状として、障害のない子どもと活動する機会はつくれていない。社会福祉協議会が主催している夏のボランティアでの学生や隣接する中学校の職場体験は積極的に受け入れている。同じ法人内の学童クラブとの行事等での交流を検討中。 →改善目標③
	27	地域の社会資源を積極的に日々の活動に取り入れているか	50%	50%		今年度は、地域の方々のご協力の下、法人の所有する畑で子ども達と野菜を育て、収穫をする体験をスタートさせた。屋外での活動や長期休暇中の外出活動では、地域のお店や公共施設を積極的に活用している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			保護者からの連絡ノートや活動記録の提供、送迎時の口頭での状況報告等で日々の状況について報告し共通理解を持てる様、努めている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	25%	50%	25%	今後の課題として、まず全ての職員がペアレントトレーニングの知識を研修等で習得し、保護者へフィードバックしていくシステムを構築していきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	50%	50%		契約時に書面にて説明を行い、変更があった場合には都度説明を行っている。また、事業所内に重要書類を掲示している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			随時面談や電話等の方法で相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			1～2ヶ月に一回、保護者のお茶会を催し、保護者同士の交流の場として支援している。また、今年度も就労支援事業所の見学会や講師の方をお招きしての座談会等も開催した。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			事業所内に苦情受付・解決責任者を選任し、苦情受付体制を整え、頂いた苦情については迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			月に1回広報誌を作成し、情報発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	75%	25%		個人情報に記載された書類は全て職員室にて厳重に保管し、個人情報に記載された文書を処分する場合は必ずシュレッダー処理を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			文書や電話、メール等様々な方法で確実に情報伝達を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		75%	25%	現状としては行えていない為、今後の課題である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			防災マニュアル、緊急時対応及び感染症対応マニュアルに加えて、今年度は防犯マニュアルを策定した。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			定期的に地震・火災・水害の非難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	75%	25%		毎年市が主催する虐待防止研修会に必ず職員をローテーションで派遣し、職場内研修も毎年実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	75%	25%		過去5年以上現在に至るまで身体拘束を行った事例がないが、今後も虐待防止研修会参加職員からのフィードバック研修を確実に実施し、万が一に備えていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			アレルギー対応が必要な場合は、事前に主治医より情報提供を頂き、協力医療機関である法人病院の小児科医が診察し、アナフィラキシー等の緊急時に備えている。また、食養課の管理栄養士とも情報共有を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			ヒヤリハット報告書綴りを作成し、常時職員が閲覧できる様にしている。

【改善目標①】 各職員の役割分担を明確にし、可視化することで、それぞれが自覚を持って業務に携わることができるようにする。また、来年度より幼児クラスと学童クラスそれぞれに分かれてのミーティングの時間を確保し、より密に情報の伝達や共有を行っていただける仕組みを作っていく。

【改善目標②】 来年度より標準化されたアセスメントツールとして『子どもの発達を支えるアセスメントツール』を導入することを前提とした学習会を全職員で定期的かつ継続的に行っていく。

【改善目標③】 来年度は同じ法人内の学童クラブに協力をお願いし、畑での収穫体験を一緒に行う等の交流を行っていく。